



タグチ 通信

vol.23 winter issue 2023



タグチグループ公式 YouTube チャンネル好評です！ チャンネル登録お待ちしております！
2023年12月27日発行 TAGUCHI 経営企画室 © TAGUCHI INDUSTRIAL CO., LTD

re-create the world
TAGUCHI



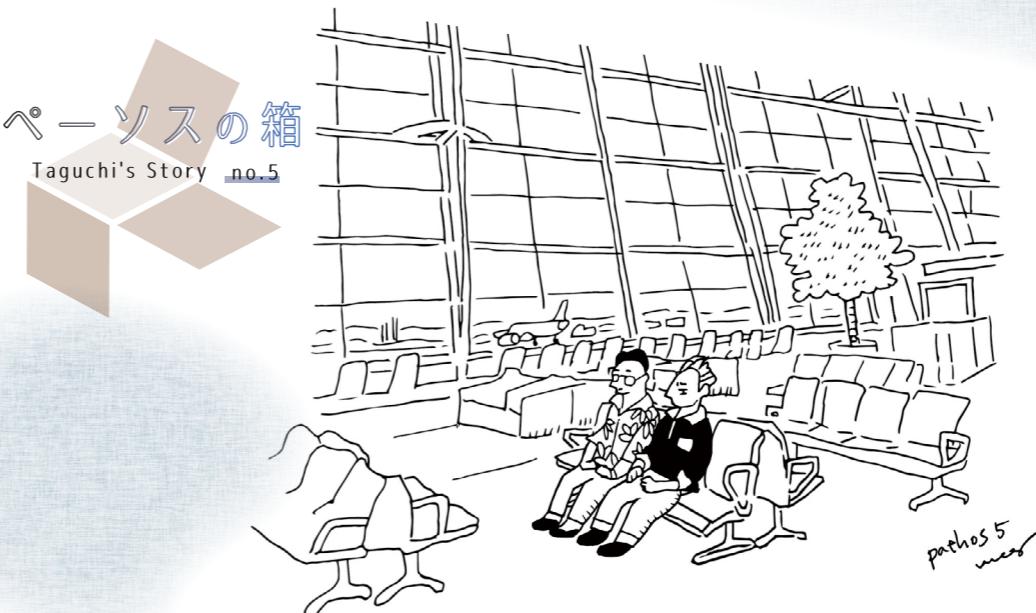
◀採用コンセプト
ムービーは[こちら](#)

タグチ、 漫画化!?

タグチ採用サイト、リニューアル



re-create the world
TAGUCHI



反りが合う、という。お互いに気心が通じ合う、波長が合うという意味で用いられる言葉だが、「反り」というのは刀と鞘のことなのだと。双方の反り具合が合わないと刀はうまく収まらない。逆に反りが合っているとしつくりと収まる。

田口裕一会長にとって、篠原央典（ひろちか）は反りが合う相手だった。篠原はパケットランドの立ち上げで取引関係のできた住友商事の商社マンである。年齢はひと回り以上も下だったが、彼には年齢差を感じさせないところがあった。いつの間にか自然と仲良くなり、いつの間にか気の置けない友人となっていた。田口会長が東京に行くたび連絡をとり、都合が合えば必ず一緒に夕飯を食べるという間柄だった。

そんな篠原がある日、「住友商事を辞めるんです」と打ち明けた。シンガポール在住の友人から、インドネシアで問題を抱えている会社の再建を手伝ってほしいと言われたのだという。篠原自身、インドネシアには駐在経験があり、馴染みも浅からぬ国とあって退社の意思はすでに固まっていた。
「そんなにインドネシアがいいって言うのなら、一度連れて行ってみてくれる?」

かくして田口会長は篠原とともに初めてイ

ンドネシアを訪れた。篠原がとてくれたホテルはジャカルタの「ザ・ダルマワンサ」。コロニアル様式にジャワ様式を織り交ぜた贊沢な雰囲気のリゾートホテルだった。夜は中華の高級レストランで伊勢海老の刺身に舌鼓をうった。田口会長は篠原が段取りしてくれたいろいろを堪能した。

なかなか面白い国だった。だが、当時のインドネシアに、タグチがビジネスを展開する余地があるとは思えなかった。同じ東南アジアのシンガポールでタグチの圧碎機を売り込んでいたというのもあって、インドネシアでも可能性があればと考えていた。しかし、道路や防災などのインフラに国が力を入れようとする気配はまったく感じられなかつたのだった。

帰国当日。篠原がスカルノ・ハッタ空港まで見送りに来てくれた。空港からすぐのところにあるゴルフ場のクラブハウスでナシゴレン（インドネシア料理の焼飯）の夕飯を食べた。まさに最後の晚餐。田口会長はテーブルの向こうでナシゴレンを口に運ぶ篠原を見ながらこう思ったという。

（この男はこの国で生きていく。もう会うこともないだろう）

見送ってくれた空港でも会話はいつもの貴重な懐刀（ふところがたな）である。

なかった。だが、言葉を交わすのもそれが最後だと、お互いよくわかっていた。

以下はそのインドネシアの旅から4年後のことである。倉敷にある精密加工の大松精機の松永光弘社長が、突然田口会長を訪ねてきた。顔を見るのは実に数年ぶり。手にはインドネシアに設立した工場の現地での除幕式への招待状があった。

（……インドネシア、とな？）

すぐに頭に浮かんだのは、篠原の顔だった。この会に出席すれば久々に篠原と会える、と田口会長が思った矢先、間をおかず篠原本人から電話があった。

「働いていた新会社を辞めたいんです、雇ってくれませんか？」

以後の結果を簡単に記すと、大松精機のインドネシア工場にタグチが出資することで合意した。タグチはアジアでの生産拠点を得るに至り、さらにここで生産した製品をアジアで販売する会社を同じインドネシアに創設した。その販売会社の社長に就任したのが篠原というわけだ。

田口会長と篠原との反りのよさはいまとなっては続いている、に違いない。ちなみに日本刀の場合、経年で反りが合わなくなることはない。会長にとっては、今やアジア戦略の貴重な懐刀（ふところがたな）である。

ナシゴレンを食べた夜、
スカルノ・ハッタ空港で
その男と別れた、はずだった。

タグチ解体新書

chapter1 | History

解体業者・安田産業を 解体してみた。

タグチにとって解体業者はお客様、大切なクライアントである。
同時に製品の開発とともにし、解体業を支えてきた同志でもある。
タグチ通信発行9年目にして初のお客様への取材、敢行しました。

— 第1章 — 歴史 History

満を持しての業界参入 解体業は二度おいしい

岡山在住の方なら一度や二度はその社名が入った重機やトラックを見たことがあるかと思う。岡山市三浜町に本社を構える安田産業。岡山県内最大級の解体業者である。70年の歴史をもち、タグチとの付き合いも深い同社に、解体業界への参入の経緯を聞いた。

「もともとはスクラップ屋なんです」

そう語るのは安田産業の先代の社長・安田猛男さん。猛男さんの父・弘さんが一般の自転車に大きめのカゴを取り付け、鉄クズの回収をはじめたのが事業のスタート。岡山の街に敗戦の色がまだ濃く残



猛男さんのオーダーから生まれたのが「全旋回」機構だ。全旋回グラスパーはここから始まった。

安田産業株式会社 略歴

- 昭和24年1月 安田弘商店創業
- 昭和63年4月 安田産業に屋号変更
- 平成2年4月 安田産業株式会社に社名変更、解体業参入
- 平成18年6月 新社屋竣工
- 令和元年7月 安田 猛(たけお) 新社長就任

る昭和20年代半ばの話である。猛男さんが生まれたのもちょうどその頃だった。

スクラップの事業が急成長するのは昭和40年代に入ってから。その成長を下支えしたのが、急速に進められた機械化だった。リフトやトラッククレーンを導入した後、銀行から4000万円の融資を受け、定置式クレーンと、H鋼や鉄屑を切断するダブリングシャーを購入した。



「安田ゴールド」に
緑のストライプの重
機がうごめく現場。
タグチ製アタッチメ
ントも無い踏み。

会社としては思い切った投資で、同業者が多数遠方から見学に来たという。

当時、猛男さんは岡山東商業に通う高校生だったが、その頃からスクラップの切断を手伝っていた。そして、家業の継承も意識し始めた二十代半ば、猛男さんは脚に重傷を負う大きな事故を経験する。「鋼材を吊っていたワイヤーが切れて右脚に当たったんです。切断かというぐら

いの大怪我でした。こんなことしてたら命がなんぼあってもたらん、やめようとも思いました。でも、いろいろ考えを巡らせるうち、やっぱりこれしか道がない

ということがわかったんです」

仕事に復帰して間もなくのこと。父である弘さんから「もうお前がやれ、以後口出しあしない」と言われた。昭和50年代初頭、猛男さんが27歳のときである。

解体事業への本格的な参入は1998年頃から。それ以前から、岡山県内の解体業者の大手・松田組の仕事に携わってい

た。解体から出るスクラップや廃材の処理を請け負っていたのだ。猛男さんの目に解体の仕事は魅力的に映った。だが、解体には手を出さなかった。松田組に対して義理を欠くようなことはしたくなかったのだ。しかし、松田組の社長が亡くなり、同社の経営が傾くと、後継者から解体業への参入を認めてもらい、満を持

して解体業に参入することになる。

「参入したいからといってすぐにできる仕事じゃないです。ノウハウもあるし、技術もいる。でも、長い間見てきましたから。それに、うちは解体から出る鉄クズを自分のところで処理して売ることが

できる。解体は二度おいしいんです。だからずっと参入したいと願っていました」

現在、同社は鉄だけでなく、コンクリートも独自の工場で粉碎して再生する設備を有している。さらには木材のチップは倉敷の工場で再生。他に廃プラスチックなども同社の最終処分場で処理が可能だ。つま

安田産業株式会社
安田猛男 相談役
(やすだ・たけお)

1949年生まれ。安田産業二代目社長。岡山東商業高校2年生のとき、平松政次をエースとする野球部が春の甲子園で優勝した。

り、解体から出る一切のものをほとんどすべて自社（またはグループ会社）で処分できる体制をもっているのである。これだけの一貫処理体制を有している事業者は全国的にもそう多くないという。

「解体はわたしにとって天職のようなもの。性に合っているんですよ。機械でバサッといくようなダイナミックなところが、仕事そのものが魅力なんです」

猛男さんがこの仕事をはじめた十代のとき、スタッフはわずかに2名だったが、現在の社員数は100名に迫る勢いで増え続けている。解体の仕事内容も時代とともに変わって来ている。次に解体業の最新事情を引き続き安田産業に取材した。



解体新書



点群データを使った建設業界の最先端技術！

安田産業では最先端の高精度イメージング・レーザースキャナーを使用して、解体工事のシミュレーションを行っている。その際に鍵となるのが点群データと呼ばれるもの。これは位置情報と色情報を持った点の集合データのこと、地形や物体などを大量の点の集合で表現する、



最大のメリットは現場をいつでも再現できること。何度も現場に赴く必要なし！

— 第2章 — 技術 Technology

実録！解体最前線

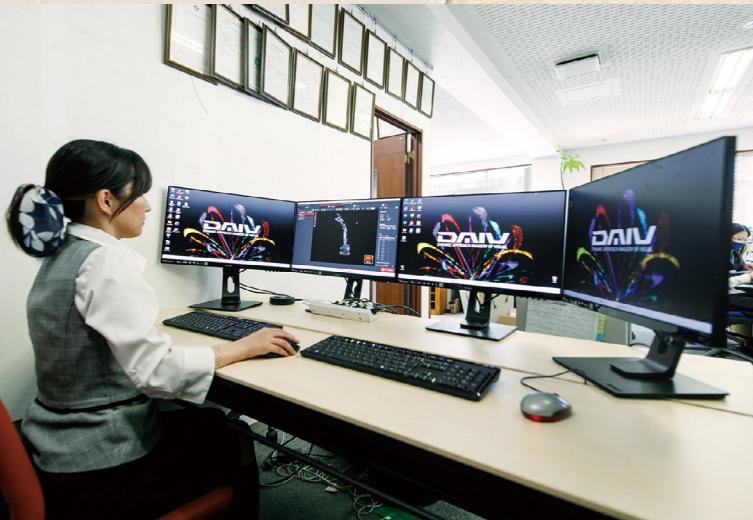
安田産業を取材して発見したのは、いわゆる「昭和の会社」なイメージとは全く違う、最新技術の数々！ 解体業界の今をご紹介します。



安田産業株式会社
藤井ちえみさん

本社で見つけた！ 3DVRシミュレーター

精度の高い点群データはデータ量が膨大で、一般的なPCでは扱いが極めて難しい。そこで安田産業では、2台の高性能PCを新規導入。4台のモニターに囲まれながらもデータの編集・結合作業を行っているオペレーター担当が、この手の作業はまったくの経験ゼロの状態から専任として採用された女性社員の藤井さんだ。編集作業だけでなくスキャナーを担いで現場にも出向き、データ作成作業を担当している。



Leica BLK360(設置型)とBLK2GO(携行型)、高性能レーザースキャナーを計4台導入。ハンディータイプは移動しながら撮影できる。

chapter2 | Technology

現場で見つけた！

先端アタッチメントカメラ

2

安田産業で保有しているショベルは実に80台を超える、様々な解体仕様機が勢揃い。その中でも主にハイリフト仕様の大型重機に搭載されているのが「先端アタッチメントカメラ」だ。このカメラで十数メートル先の対象物をモニターに映し出し、ショベルのキャビン内で確認しながら作業することができる。



ビルの解体など高所での作業効果は絶大。しかし、ベテランオペレーターのなかには、「自分の目の方が信用できる」というツワモノも。

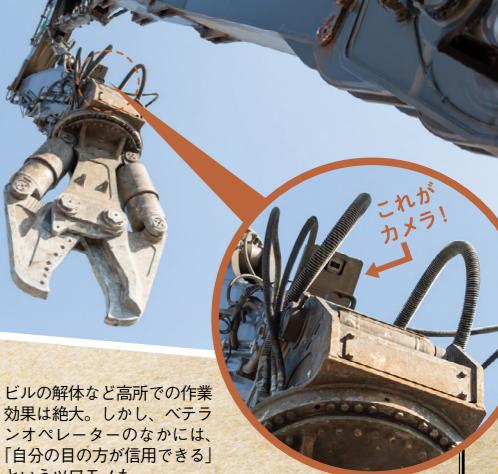


月に一度は全員集合！連絡事項をしっかり伝える

ホワイトボードディスプレイなど、最新設備は会議室にも。月一の全体会議では、VRシミュレーションを見せながらの工程会議や連絡事項をしっかり伝達。コロナ明けでもマスクを全員着用してしっかり予防するのが安田イズム。



iPadからの手書き、キーボード入力で書類作成が可能に。



本社で見つけた！ 社内DX化

3



安田産業株式会社
たける
安田 猛 社長

契約書作成から始まり、作業計画書、工事計画書、請求書、官公庁への処分実績報告書等々、解体・産廃業には膨大な書類業務がついて回る。そこで安田猛社長が率先して推進しているのが社内のDX化だ。現場の作業員がiPadを使って操作できる業務システム・アプリの導入や、先に紹介した点群データの活用で書類作成業務の圧倒的時短を実現！

タグチ通信(以下タグ通) 一番の古参オペと
聞いていますが、オペ歴は。

父・健一さん 大阪で18歳から機械に乗
り始めて40～50年ってところかな。

タグ通 半世紀ですか……！お二人は安田産業に何年お勤めですか。

息子・徹也さん 父が22年ほどで、僕が
15年。僕は車の部品関係の仕事から
の転職で全くの素人から始めました。
入社後5年間は色々な人とチームで作
業をして、7～8年目から親子で大き
な現場を担当するようになりましたね

タグ通 一緒に働いていかがですか。

健一さん まあ、一番気心が知れているからやりやすい。全部言わなくとも大体わかるというかね。息子の方が現場の監督をしてます。

徹也さん 僕が監理技術者(※)の資格を持つていて。父がメインで、僕はバケツのショベル側で合番をしたり。

安田産業ってどんな会社?

親子オペレーターに 突撃インタビュー

安田産業きっての古参オペレーターが
親子で働いている！という噂を聞きつけ
タグ通がお話を伺ってきました。



オペ歴50年！ 健一さんの豊富な解体現場の経験値には絶大な信頼をおいています。「現場一筋、現役でいたいね。迷えるないけど、遠くは見えるから」（健一さん）



話を聞いた

下玉利 健一さん(父・左)
下玉利 徹也さん(息子・右)

徹也さんの入社後7年目から親子で現場を担当。健一さんがメインのオペレーター、徹也さんが監理技術者として場監督を務めている。

タグ通 アイバン、ですか

徹也さん 壊す対象物の周りを片付けたり、色々剥がしてアタッチメントで噛みやすいようにサポートしたり。下ごしらえみたいなことですね。

タグ通 親子で働くきっかけは

徹也さん たまたま休みの日に、父の現場を見かけたんです。囲われてたけど

外から覗くと父が見えました。家で事の話はしないけど、機械で作業しているのは何となく知っていて。実際に見て、凄いな、やってみたいなど。

タグ通 素晴らしい……。安田産業
社風、気風みたいなのはありますか

健一さん 怪我をしないのが一番、あ
は綺麗に早く終わらせる。周りに迷
をかけずに、綺麗な仕事をするとい
かね。現場は分かれてもみんなそう
っていると思うね。うちは重機の台
もサイズも揃っているし、アタッチ
メントも豊富で面白い。タグチの機械
もう長年使っていて能力も分かって
けど、進歩していると思うね。

タグ通 ありがとうございます。会社は後進の指導にあたってほしいとか。

徹也さん 父は自分で解体の作業をしながらも現場の全体像が見えてるんですよね。いかに能率をあげて手順よく解体するか。豊富な経験からの知見はやっぱりすごいですね。

健一さん 前をしても、後ろが何を
とるかは大体がわかる。感覚で。

タグ通 感覚ですか……

徹也さん それを受け継いでいかない
いけないんです(笑)。

田口博章社長の うろ覚えでゴメン！

『How i met your mother』(2005～2014年)

出演／ジョシュ・ラドナー、ジェイソン・シーゲル、ニール・パトリック・ハリスほか
ときは2030年、父親が子供たちを前にして話し始める。お父さんがいかにしてキミたちのお母さんと出会ったか。話は25年前の2005年に遡る……。
2005年はこのホームドラマの放映が全米でスタートした年。回を重ねるごとに人気を呼び長寿ドラマ化。完結はなんと2014年。シーズン9まで制作されたそのラストにはあつと驚く意外な結末が待っているのだった！

た いがいのことはうろ覚えなんだけど、このドラマに関してはうろ覚えな部分は皆無です。なにせ日本人でこのドラマをぼく以上に見てる人はいません。1シーズン20話、シーズン10まであって、これまで全部で10回は見ています、ハイ。え、シーズン9で完結？ 10はない？ まあ長いことには変わりないですから。

初めてドラマの存在を知ったのはテキサス大学の1年生のとき。アメリカでよく流れてたんですよ。当時はまだ英語があまり喋れなくて、英語をもっと勉強したいというのもあって見始めました。コメディのドラマって、英語の勉強には



『ウェディング・シンガー』(1998年)



この映画のドリュー・バリモアの魅力に太刀打ちできるのは、「メリーに首ったけ」のキャメロン・ディアスしかない。ちなみにこのふたりが共演した『チャーリーズ・エンジェル』では、どういうわけか彼女たちよりもルーシー・リューの方が魅力的だった。

80年代を 映画で満喫できる2本

今回は80年代の音楽シーンを扱った映画を2本ご紹介。まずはヒュー・グラント主演の『ラブソングができるまで』(2007年)。彼が演じるのは、ポップデュオで80年代に一世を風靡したものの、解散後は遊園地や同窓会のステージで細々と営業活動を続けている落ち目のミュージシャン。そんな彼のもとに観葉植物の水やりのアルバイトがやってくる。これがラブコメ界のミューズ、ドリュー・バリモア。つまり、米英ラブコメ界のキングとクイーンの職人芸的なキャッチボールがそのまま映画の魅力となっているのである

が、この映画では彼ら以上に存在感を放つものがある。主人公のデュオ時代の最大のヒット曲『PoP! Goes My Heart (恋は突然)』だ。80年代の英国で、いかにもあったかのようなシンセサイザーを使ったキャッチャーなメロディと薄っぺらな歌詞。そしてこの曲に合わせたドラマ挿入のPVがまた傑作！ 80年代の、振り返ると小っ恥ずかしくもある時代の空気感をきっちり捉えた本作。ニューウェイヴ好きには絶対見てもらいたい1本だ。

さてもう1本は『ウェディング・シンガー』(1998年)である。こちらの舞台は1985年のアメリカの地方都市。アダム・サンドラー演じる主人公は地元の結婚式場でポップソング

も別れちゃうんですよ。お母さんとどうやって出会ったかというストーリーのはずなのに、お母さんがなかなか出てこないわけです。

基本、コメディです。その笑いがね、よくあるアメリカのコメディドラマと違って、日本人にツボなんです。それからこれがこのドラマのいいところなんですが、それぞれの人生や恋愛にはいろいろ考えさせられるところがあるんです。もうこれ、ヒューマンドramaですね。もちろん、DVDセットを持ってます。このドラマを配信しているという理由でディズニープラスにも入会しています。配信だといつどこでも見れますからね。

G-WORKSの
スマホで
映える！

Before After



G-WORKS 吉川 賢司

こんにちは。G-WORKS代表の吉川です。

今回皆さんに紹介したいのは撮影したデータをバックアップするサービスです。活用すれば快適なスマホライフ間違い無し！ 必見です。

vol.

安心撮影！ バックアップ【Backup】

容量を気にしない 快適な撮影環境を！

突然ですが、スマホの容量が写真や動画でいっぱい、なんてことはありませんか。スマホで撮影した写真や動画は、知らない間にたまってしまいがち。ストレージ容量がいっぱいになると、新しく写真を撮って保存することすらできません。また、容量を空けるためにデータ整理に

何時間もかかるハメになることも。

そこでここでは、スマホの容量がいっぱいになったときに便利な「Googleフォト」を紹介します。利用することでスマホの容量問題の解決だけでなく、スマホが故障や紛失したとしても大切なデータを守ることができます。

容量を気にしないで
いいから沢山写真が撮れる



G-WORKS / IGも見てね！

@g_works.online

タグチのハウスエージェンシー・G-WORKSのインスタ。ぜひいいね！とフォローをお願いします。



point 1 用途に合わせて 選べるサービス

Googleフォトは無料でも15GB利用できるサービス。有料版は最大30TBという大容量にも対応しているので安心。使うデータ量によって途中でプランを変更することもできるのが非常に便利。自分に合ったプランを選択しましょう。

容量	月額	年額
15GB	無料	無料
100GB	250円	2,500円
200GB	380円	3,800円

※上記はプランの一例です

point 2 家族や友人と データを共有できる！

遠方に住む家族と子どもの写真を共有したい。友人と遊んだ時に撮った写真データを皆で共有したい！ そんな時にGoogleフォト内でアルバムを作成すれば、家族や友人とデータを共有することができます。ぜひとも皆さんで使ってみてください。



point 3 他にも こんなサービスが！

Googleフォト以外にもこういったストレージサービスは沢山あります。自分の使い方に合ったサービスを利用しましょう。検索してみてね。

iCloud

iPhone・iPad・MacなどのApple製品に組み込まれているためAppleユーザーにオススメです！

MEGA

無料プランでも20GBと大容量のサービスが魅力。有料プランも大容量でリーズナブル！

Amazon Photos

Amazonプライム会員であれば写真は無制限。動画は5GBまで使用できる。すでに会員の方にはオススメです！



タグチ、林業展に初出展! ワンキャッチで林業を変える!

1 REPORT

全国各地からの来場者が 多数。タグチブースは 新製品展示で大盛況!

2023年11月12日(日)・13日(月)の2日間、茨城県ひたちなか市笠松運動公園で開催された「2023森林・林業・環境機械展示実演会」。林業の生産性を向上させる多彩なアタッチメントが一堂に揃うこのイベントに初出展しました。イベントの来場者はなんと24,500名! 雨にも負けない熱気溢れるイベントの中、タグチブースも常に盛況。「着脱のなめらかさがすごい……」「この草刈機は新しいわー!」と、ワンキャッチシリーズや「クサカルゴンスリム」はともに大好評(いや、ホントに)。



ミニ用の完全油圧式ワンキャッチだけじゃない! 木材・廃プラスチックのGSEシャー・エコ(右写真)は鋭いブレードで木材をガブリ。

「林業展」ってどんなイベント?



2023森林・林業・ 環境機械展示実演会

林業の機械化の促進と技術の普及を目的とした展示会。林業関係者にとっては欠かせないイベント。会場には林業用アタッチメントがズラり! 屋外開催でも開放的でした。



今回の林業展で初披露 新製品、どーん!と紹介します

**タグチといえば
グラスバーでしょ!
しかも俺、つかんだまま
旋回できちゃうからさ。
ショベルの作業姿勢も
気にせず積み込め
ちゃうよ!**

(完全油圧仕様)
**全旋回グラスバー
GV-122S-HP**

360度全旋回機能を搭載。狭い敷地での木材解体に最適な効率機です。

**林業に特化したこの私。抱え込むように
しっかりとつかめるこの爪で、どんな角度でも
優しく木材をつかんじゃうわよ。**

(完全油圧仕様)
**全旋回木材グラスバー
GW-122S-HP**

乱積みされた木や、倒木の除去など災害復旧作業にもお役立てできます。

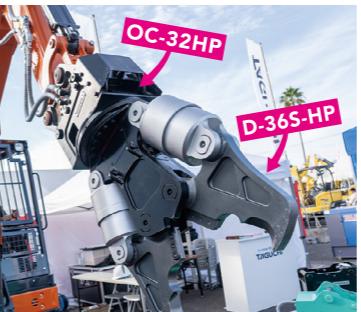
**初めて。私、クサカルゴンスリムと申します。
名前の通りボディはコンパクト。ガードレール下など
小スペースの除草作業にはうってつけでございます。
ぐるりと旋回できちゃうので、作業効率格段に
あげちやいますよ。**

(完全油圧仕様)
**全旋回クサカルゴン
スリム HM-32S-HP**

商品紹介はごちらから
除草作業の様子をチェック!

商品紹介はごちらから
除草作業の様子をチェック!

QRコード
Youtube



2 REPORT

キタチャレンジフェスタに タグチの製品が登場

2023年10月12日(木)～14日(土)、徳島で開催された喜多機械産業様の展示会「キタチャレンジフェスタ」に出演しました。参加メーカーはなんと100社以上。タグチは完全油圧式ワンキャッチのPRで、全国各地を回っているキャラバントラックで参戦。一般のお客様も来場され、賑やかなイベントになりました。



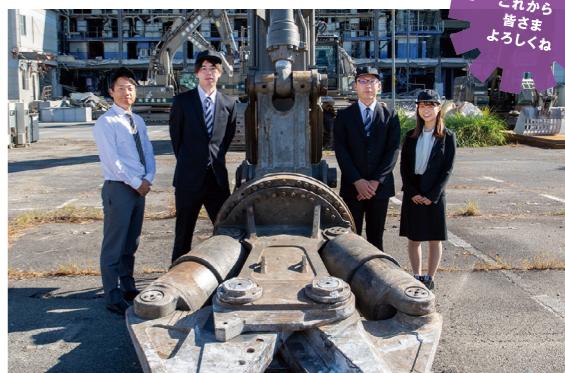
3 RECRUIT

2024年度入社予定 内定式を執り行いました

懇親会では恒例となりつあるボードゲームを。絆が強まりました。

2023年10月2日(月)、岡山本社にて2024年度入社予定の内定式を執り行いました。内定証書授与の後は採用チームと一緒に工場見学へ。途中、製品が使われている解体現場にも立ち寄り、製品がどのように使われているのかを見学させてもらいました。

来年からタグチの一員としてよろしくお願いします!



初めて入った解体現場では、迫力あるアタッチメントを間近で見て感動。



タグチグループの 新卒採用サイトがリニューアル

2025年卒向けの新卒サイトが公開されました。漫画家 須本壮一氏によるコンセプトムービーや、漫画調のサイトデザインは全て社内のクリエイティブチームで制作。タグチの魅力を伝えるべく奮闘して完成した新卒サイト、皆様ぜひご覧ください!

漫画家さんに描いてもらったよ!

す もと そ う いち
須本 壮一

1980年漫画家デビュー。現在、第9巻まで刊行中の『紫電改343』や『永遠の0』等幅広い作品を発表している。

クリエイティブ専門誌にサイトデザイン
が紹介されたりも。



新店舗に、新スタジオまで。 タグチの進化は止まらない!?

11月に新たな施設が誕生。11月28日(火)に北海道営業所、29日(水)には「G-WORKS高松スタジオ」が竣工されました。



VFX技術を取り入れたバーチャルスタジオは、なんと西日本最大級! CMやMV撮影も可能です。

